

# サル舎NEWS Vol.10

## ワオキツネザル編

### 丸太とフィーダーを新設しました

昨年の秋に園内でメタセコイヤの伐採がありました。このメタセコイヤの丸太をもらい、ワオキツネザルのグラウンドに設置しました。最初は警戒していたワオキツネザルたちは数日で慣れ、今では上に乗ってくつろぐ姿も見られるようになりました。また、消防ホースで編んだフィーダーも新設しました。フィーダーは主に朝ごはんのペレット（固形飼料）を隠して使用しています。こちらも最初は警戒していたワオキツネザルたちでしたが、今では真っ先にフィーダーから餌をとる日もあります。フィーダーを使う時、ワオキツネザルは後ろ肢で立ち上がるような姿勢で餌を取ります。キツネザルの仲間は後ろ肢がとても発達しています。びよーんとジャンプをするのも得意です。ぜひ、観察してみてください♪



切り株に乗っているツクシ

奥にフィーダに取り組むヨモギもいます

# シロテテナガザル編



## 手を出してくれるシロマティー

シロマティーは、腕からの採血を目標に昨年の夏ごろから担当の獣医師によるトレーニングを実施しています。

トレーニングの内容は、格子に空いた穴からこちら側に腕を出してもらい、針の刺激に徐々に慣れてもらうといった流れです。獣医さんとのトレーニングで腕を出してくれるようになったシロマティー。採血にも成功しました。腕を出してくれるので、担当者はこの際に保湿剤の塗布や爪切りを実施しています。練習を重ねた最近のシロマティーは、右手を出してとこちらが合図をするとすっと手を出してくれるようになりました。ただ、左手はまだ難しいようで合図で出してくれることはありません。でも、嫌がることなくこちらに左手を預けてはくれるシロマティーです。



左手を出してくれている  
シロマティー

# マンドリル編



## イズミの顔の色の変化

マンドリルは大人になるにつれて顔の色がだんだんと鮮やかになっていきます。メスのイズミは、現在7歳です。マンドリルのメスは4～7歳ほどで大人になるといわれています。

イズミはこの2年間で、顔の色が大きく変化しました。全体に黒っぽかった顔の色は、鼻筋が赤味を帯びて、頬は青色が鮮やかになってきています。からだも僅かですが大きくなったような気がしています。これまでは姉のディアマンテと顔の色が大きく違っていたので、見間違えることはありませんでしたが、最近は一瞬どっちだ？となることもあります。



2024年7月



2025年5月



2026年3月

# フサオマキザル編



## ヒナタ

ヒナタもすくすくと成長し、顔つきがどんどん大人びてきています。他の個体をけん制するような行動を見せることもあります。群れの中でのヒナタの順位は3番、4番目あたりかなといった感じです。順位が高い個体ほど優先的に餌を食べることができます。食事の時間に特に群れ内の順位がよく分かります。成長中のヒナタをぜひ、探してみてください♪



フィーダーから  
パイナップルを  
取り出すトンキチ



最近のヒナタ



## トンキチの右前肢

昨年5月頃からトンキチの右前肢に跛行が見られるようになりました。5月に2度、レントゲン撮影や筋肉の検査を行いました。腕の筋肉の一部が硬くなっており、腕をうまく伸ばすことができなくなっている状態であることが分かりました。昨年8月にも再度検査を行いました。結果は前回と大きな変化はありませんでした。幸い採食や移動に大きな影響を及ぼしてはいませんが、ひどくなったり、他の部位に異常が出てきたりしていないかなど、注意深く経過観察をしています。